

# 県民の森 園内紹介 ⑤ 昭和の森 1 みはらし広場

昭和の森は、園内の東から南側に位置する園地で、昭和49年の全国植樹祭の時から、段階的に整備されてきました。中でも岩手山七滝登山口前に広がる広場は、北側の展望が非常に良く、早朝は眼下に雲海が見られることも多く、「みはらし広場」と名付けられています。

「みはらし広場」は、広い芝生の広場の周辺に、様々な針葉樹や、ヤマボウシ、アズキナシ、ハルニレ、カエデ類などが植樹され、木の実を食べに多くの野鳥が来訪します。

春はレンゲツツジの花の朱色と新緑が美しく、秋はカエデ類などの紅葉を楽しめます。積雪期は、緩やかな広い斜面を利用して、スノーシューやスノーボード、スキーなどを楽しむ方も多いです。

四季を通じて、様々な出会いがある「みはらし広場」。岩手の美しい自然を堪能できる場所です。



七滝登山口  
北側の展望  
【右】七時雨山  
【中】荒木田山  
【左】御月山



七滝登山口から見下ろすみはらし広場 2021年10月27日 芝生の広場まわりに針葉樹が植樹され、どこか異国情緒を感じさせる風景です。



新緑とレンゲツツジ 2021年5月24日



カエデ類の紅葉 2021年10月28日



雪を被ったアカエゾマツ 2020年2月17日



キタゴヨウマツの球果を食べに来たホシガラス 2021年9月8日



ブナ林の下で透明な不思議な植物、アキノギンリョウソウが群生します。 2021年9月20日



珍しいヨーロッパ高地原産の低木のマツ、モンタナハイマツが見られます。 2021年11月9日